

リスクマネジメント

リスクの未然防止と有事に備えたBCP

大規模地震をはじめ自然災害や、新型コロナウイルス感染症、米中対立やロシア・ウクライナ問題に対する経済安全保障など、さまざまなリスク発生による影響を重要なリスクとして捉え、BCP(事業継続計画)を策定しています。新型コロナウイルス等の感染症に対しては、アイシングループが事業を展開している各国・地域の政府および自治体等の指導に従い、働く人々とその家族、顧客を始めとするすべてのステークホルダーの皆さま

の健康と安全確保を最優先に考え、感染拡大の防止に努めるとともに、海外でのロックダウン等の外的要因リスクに対し代替生産やバックアップなどあらゆる手段で顧客への製品・サービスの供給継続に努めています。

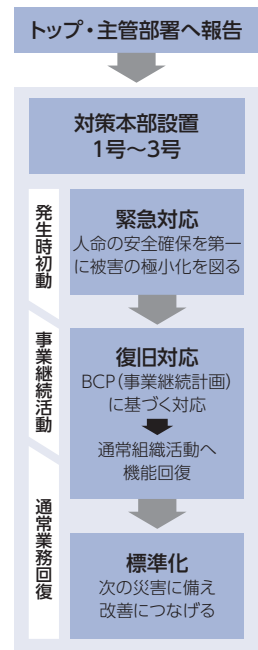
また、緊急事態発生時には、迅速にトップやリスク主管部署に報告する「リスクレポート」の運用を徹底しており、その発生した危機レベルに応じた対策本部(1号〜3号)を立ち上げ、被害最小化・早期復旧を図っています。

リスクマネジメントの教育・啓発、
「学び・気づき」の伝承

すべての従業員のリスクマネジメント力向上を目的に、教育・啓発に取り組んでいます。リスク対策の平時対応(抑止策・軽減策)と有事発生時の実践要領を制定した「危機管理(リスクマネジメント)ガイド」を発行しています。一人ひとりが、平時・有事において、危機管理ガイドにもとづいた対応が取れるように、「階層別リスクマネジメント研修」を開催して習熟を深めています。さらに、近年多様化するリスクへ感度を高めるために、全従業員に向けて「リスクマネジメント報」を発行しています。

また、アイシンでは、過去の大規模地震による甚大な被害を二度と繰り返さないよう、「アイシン伝承館」に「熊本地震学習ゾーン」を設置しています。2016年の熊本地震での被災・復旧で得た「学び・気づき」をパネルと映像にまとめ、展示伝承し、減災対策・初動対応の強化を図っています。

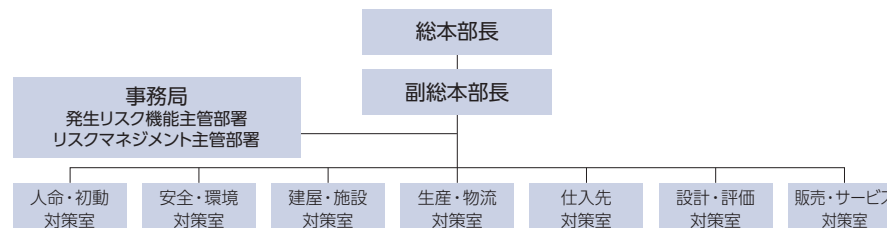
緊急事態発生時の対応



有事発生時の対策本部設置基準

	危機レベル		
	〈Ⅰ〉 グループの経営全般に重大な悪影響を及ぼす可能性がある危機	〈Ⅱ〉 当社の経営全般または複数の部門に重大な悪影響を及ぼす可能性がある危機	〈Ⅲ〉 当社の一部の部門に重大な悪影響を及ぼす可能性がある危機
対応組織	1号対策本部	2号対策本部	3号対策本部
総本部長	リスクマネジメント委員長の指名役員	リスクマネジメント委員長の指名役員	発生リスク機能主管部署の部長
事務局	発生リスク機能主管部署、 リスクマネジメント主管部署	発生リスク機能主管部署	発生リスク機能主管部署

対策本部(1号対策本部の例)



アイシン伝承館「熊本地震学習ゾーン」